

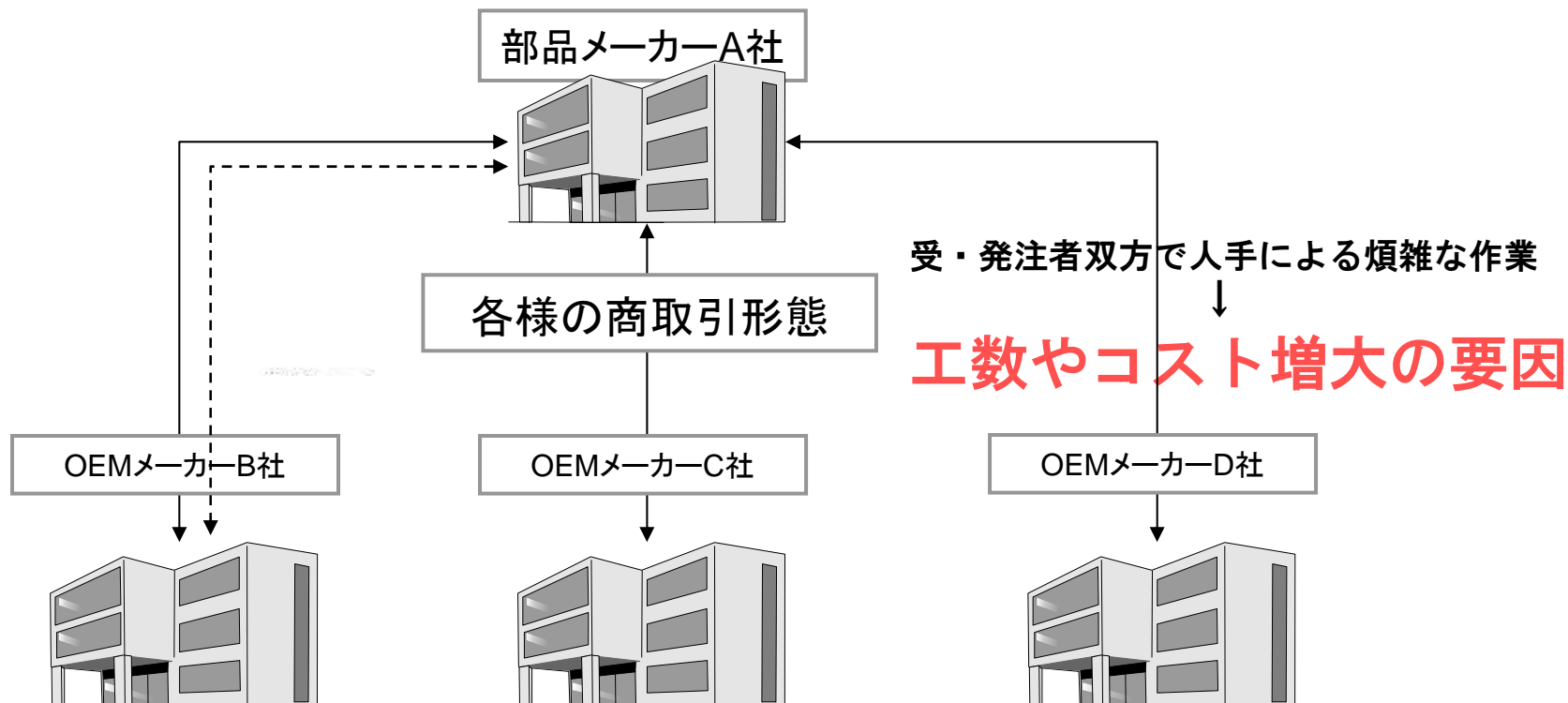
---

スズキ株式会社における

# 標準帳票導入・活用の事例紹介

2007年7月13日  
スズキ株式会社

# 1. 導入の経緯



企業間を越えて  
業界間を越えて

- データ交換の標準化
- ネットワークの標準化

## ・データ交換の標準化

- ・EDIメッセージとしてUN/EDIFACTの採用を決定
- ・JAMA-EDI標準帳票ガイドラインの発行と採用完了目標の設定

## ・ネットワークの標準化

- ・JNXの採用決定と運用

## 2. 導入のねらい・目的

---



- 自工会EDI標準への対応
- 納品書・受領書の多品一葉化による発行枚数の削減
- スズキ／お取引様間での現品票を共用（二重出力の廃止）する。  
各社各様の指定納品帳票・荷札を廃止し、標準化する。
- 規格用紙の採用
- 2次元QRコードの採用

### 3. 対応とその実績・効果

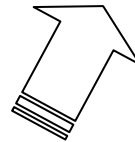
#### スズキでのJAMA標準帳票移行時期

現品ラベル	‘99年 7月
かんばん	‘02年 7月
納品書・受領書	‘99年 7月
支給書・受領書	‘99年 7月

# 3. 対応とその実績・効果



部品番号  スズキ株式会社 <b>68131-15F10-000 01</b>		現品票 供給工程 016	当工期 0010	次工期 2110	生産方式 C
収容数 <b>60</b>		機種 <b>XXXXX</b>	要元 納入場所 <b>X MF11-1</b>	納入指示日 11/06	納入時刻
部品名称 <b>EMBLEM.FRAME COVER.R</b>		仕様	部品番号 <b>68131-15F10-000</b>		6813115F00
納入場所 <b>MF11-1</b>		月度 <b>M</b>	連番 <b>023</b>	ライン <b>1</b>	
AAAA (株) 3875		納入指示日 <b>11/06</b>	生量試 <b>A</b>	形態 <b>C</b>	容器コード <b>C431</b>
発行番号 SH01M24734801		時刻	出荷指示日 11/06	出荷時間 10:00	LOC A0001
		発行注釈	容数 <b>60</b>	指示数 <b>60</b>	
			ロットNo <b>R130741</b>	コメント <b>14</b>	SH01M24734801



**受領書**

品名: A

納入日: 11/06

納入時刻: 10:00

ロットNo: R130741

指示数: 60

実数: 60

**納品書**

品名: A

納入日: 11/06

納入時刻: 10:00

ロットNo: R130741

指示数: 60

実数: 60

**納入ロット票兼支給書**

品名: A

納入日: 11/06

納入時刻: 10:00

ロットNo: R130741

指示数: 60

実数: 60


# 3. 対応とその実績・効果




## 納品書

発注者 SUZUKI  
 発注者事業所 スズキ株式会社御中  
 納入場所 MF11  
 納入指示日 2003年10月29日  
 納入指示時刻 00時00分

発行日 2003年10月28日  
 受注者 3875  
 受注者事業所 200  
 受注者名称 AAAA (株)



納品書№.



\*SMF113245U00621\*


No.	部品番号 部品名称	部品番号識別-1	発行番号	納入数	端数	分納残	形態	初物	月度
1	68131-15F10-000 EMBLEM, FRAME COVER, R	01	SH01M090626	60		0	C		M
2	68131-15F10-000 EMBLEM, FRAME COVER, R	01	SH01M090627	60		0	C		M
3	68131-15F10-000 EMBLEM, FRAME COVER, R	01	SH01M090628	60		0	C		M
4	68141-15F00-000 EMBLEM, FRAME COVER, L	01	SH01M090640	60		0	C		M
5	68141-15F10-000 EMBLEM, FRAME COVER, L	01	SH01M090641	60		0	C		M
6	68141-15F10-000 EMBLEM, FRAME COVER, L	01	SH01M090642	60		0	C		M
7	68141-15F10-000 EMBLEM, FRAME COVER, L	01	SH01M090643	60		0	C		M

## 受領書

SEQ 1  
発行日 2003年10月28日


受注者 3875  
 受注者事業所 200  
 受注者名称 AAAA (株) 御中

納品書№.



\*SMF113245U00621\*

発注者 SUZUKI  
 発注者事業所 スズキ株式会社  
 納入場所 MF11  
 納入指示日・時刻 2003.10.29 00:00



受領印

No.	部品番号	部品番号識別-1	発行番号	納入数
1	68131-15F10-000	01	SH01M090626	60
2	68131-15F10-000	01	SH01M090627	60
3	68131-15F10-000	01	SH01M090628	60
4	68141-15F00-000	01	SH01M090640	60
5	68141-15F10-000	01	SH01M090641	60
6	68141-15F10-000	01	SH01M090642	60
7	68141-15F10-000	01	SH01M090643	60

### 部品納品書

得意先 167  
 部品番号 1326676208-82001-4NM01N510NA0  
 数量 707  
 納入場所 27100018509

### 部品検収書

納入先 御中  
 部品番号 1326676208-82001-4NM01N510NA0  
 数量 707  
 検収場所 762088482000142322010326600000784

分納納入の場合

分	第1回	第2回	残数実納
月			
日			
納入数			
累計			
受領印			



1. 納入月日、納入数を分納納入  
 2. 次回納入時に当分納品を持参  
 3. 分納時は必ず前分納品の領収書  
 を発行して納入する

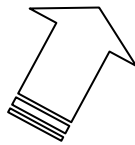
注意  
 この領収書は  
 インターネット  
 経由で  
 送信する  
 ことができます  
 (お問い合わせ)

1014

# 3. 対応とその実績・効果



所番地 KA1-087-R00 8810 <small>権位 担当</small>		受入コース スズキ株式会社 <small>受入</small>	
部品番号 11111-76G20-000 <small>L番</small> 01		<b>S</b> <b>湖西1</b> <b>WA1</b> <small>L O</small>	
3441-Z01 スズキテスト社 テスト工場Z01 出荷場所 11111111		背番号 <b>602</b> 	
取容数 <b>10</b>		部品名称 SHAFT ASSY, PROPELLER ABCDEFGHIJ 工程 K510 重要保安部品コード <b>A</b> 参考情報 2.7-1.62	
便単位 1/ 1 品番単位 1/ 1		11月24日 3便  *NW00000032901*	
		納入時間 20:45 納入サイクル 1-03-06 荷姿コード TRB9 ふんとし情報 <b>3</b> コ055	



1-02-04 <b>A社</b> 103149312000006	3149-312 (09146) W611 30 0000-0077 85.02.09 77 275741008485000000000010002402030	<b>磐田</b> <b>W611</b> 281932110326110
3149-312 ※※※※(株) ※※※※-C <b>14-11</b>	<b>74100-85000-000</b> 01 <b>275</b> L12B <b>24</b> HEATER ASSY	受入 <b>WB</b>



# 3. 対応とその実績・効果

## 部品メーカーにおけるメリット

No.	帳票改定項目		現 行	改 定 後
1	標準帳票の採用及び帳票種類の削減	プリンタ	自動車メーカー別帳票の専用プリンタが必要	自動車各社向けのプリンタと共用が可能
		帳票用紙	メーカー別専用帳票の調達・在庫管理が必要	用紙の共通化により、調達・在庫管理工数の削減が可能
		仕入先用現品票	工程・在庫管理用の自社現品票と並行使用、または差換使用	標準現品票に自社現品票部分が組込まれ、自社現品票の廃止が将来可能
2	標準帳票の仕入先出力及び支給部品の受領入力の推進	出荷及び受領データの活用	出荷及び受領データが対象データでない為、個別に仕入先で別システムを構築し、対応する必要がある	標準端末に出荷及び受領データの入力システムを採用、データを別システムに取り出し工程・在庫管理に活用が可能
		納品書の工場資材への持込	納品書の受領入力処理が工場端末に限定され、仕入先が工場資材へ納品書を持込む必要がある	支給部品受領用紙急所の入力が標準端末で出来る為、支給書の向上資材持込み工数が削減できる

# 4. 導入におけるメリット

	メリット
システム	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 仕入先での出力に切り替わったため、帳票配布工数が削減できた。</li><li>・ 新規取引先との受発注システム及び運用等の準備・調整期間を短縮できた。</li></ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 多品一葉化により納品書・支給書枚数を削減できた。</li><li>・ 現品票の読み取りにより受入品の管理工数を削減できた。</li><li>・ 従来より懸念項目となっていた納入時間単位での納入指示が可能となった。</li></ul>
物流	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現品票の半券読み取りにより、現品と伝票(納品書)の確認作業を標準化する事ができた。</li><li>・ 支給品について、物の動きと情報を一元化できるようになった。</li><li>・ 出荷拠点単位に伝票を仕分ける工数が削減できた。</li><li>・ 容器単位での分納処理が可能となり、現品と伝票(納品書)が一致するようになった。</li></ul>

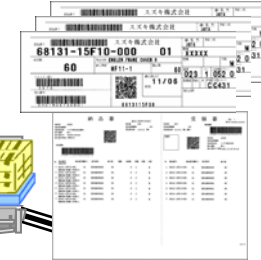
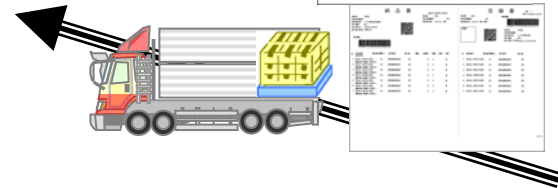
# 4. 導入におけるメリット



SUZUKI

データ

部品メーカー  
A社

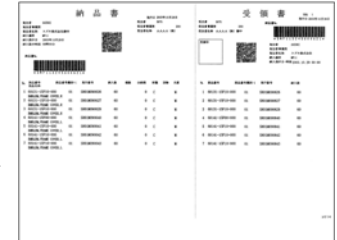


現品票作成

半券をちぎり、読み取る



納品書 & 受領書 作成



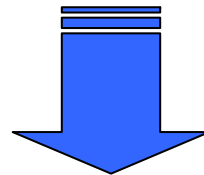
かんばん作成



便仕切カードを読み取る。  
半券をちぎる作業を廃止。

## ■移行後の活動

移行後1年から2年の間、過渡期の問題として  
「JAMA標準帳票」、「部品メーカー独自帳票」の併用  
が多く見受けられた。



部品メーカー各社への説明が不十分 ⇒  
仕入先での出荷指示システム等の一元化が遅れた

## ■ 弊社の今後の課題(予定)

- ・現品票の統合の検討(かんぱん方式への統合)
- ・納品書、受領書レスの検討

## ■ 自工会の今後の課題

昨年度、標準EDI導入後実態調査を実施。

調査結果に基づき、標準EDIの効果訴求ならびに  
標準EDI導入の拡大のための施策の実施。

(2007年度施策案)

- ①サプライヤ向けEDI標準 導入・活用セミナーの開催(東京、名古屋、大阪)
- ②複数取引をもつサプライヤーや車体メーカーへのEDIFACTの適用要請
- ③各OEMのWeb-EDI標準機能調査